

ほんだな



◆ 開放図書館便り ◆
 第2号(通巻280号)
 令和5年6月23日
 札幌市立発寒西小学校
 開放図書館運営委員会

れきし ぶんこ 歴史ある「ハッピー文庫」 校長 関 敏明

学校には、必ず図書館があります。それは、子どもたちが新しい知識や情報が必要とし、豊かな感性や新たな価値観に触れることで情操教育の一環を担うなど、本が教育に必要なものだからです。一生涯を通じて教育が必要なのは、子どもたちに限ったことではありません。大人も子どもも生涯教育としての読書を必要としています。そして、「地域に手軽に利用することができる図書館を」という願いから誕生したのが地域開放図書館です。

本校の地域開放図書館の「ハッピー文庫」は、昭和54年に開館し、今年で45周年を迎えました。昭和の時代に開放図書館が設立されたのですから、札幌市の中でもたいへん歴史のある開放図書館になります。きっと地域の方や保護者の方の強い願いがあって実現されたことでしょう。そう考えると、発西の子どもたちの本好きは、ここをルーツとしているのかもしれない。

昨年度の読書大賞(年間100冊貸出・1年生は85冊)は117名、読書賞(年間50~99冊貸出)は293名でした。非常に多くの子どもたちが「ハッピー文庫」を身近に利用していることがよく分かります。昔も今も本好きな子どもたちを支えてくれる「ハッピー文庫」と運営に携わる開放司書さんやボランティアの皆様にご心より感謝申し上げます。発西の地に50年、100年愛され続ける「ハッピー文庫」であることを心より願っております。

としよしつ い 図書室へ行こう 運営委員長(PTA会長) 村越 祐式

私は、仕事柄、色々な学校の図書室を訪れることがあります。先日も、ある高校の図書室に入ることがありました。何気なく置いてある本を見してみると、参考書や一般書に混じって、漫画や絵本まで置いてありました。読書離れが叫ばれている中、読みやすい本を置くことにより、読書のハードルを下げている工夫がされていて、感心しました。

さて、発寒西小学校の図書館も、司書の方やボランティアの方の工夫で、読みたい本が無くても、ポップやコメント etc で、興味を与えてくれています。子どもたちと一緒に読書をするきっかけをぜひ、発寒西小学校の図書館で見つけてください。司書さんとボランティアさんが笑顔で迎えてくれますよ。



★ 開 館 日 ★

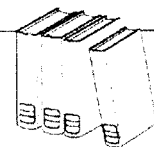
7月		
月	水	金
3 かえす	5	7
10	12	
14~24日は蔵書点検のため 閉館です。図書館に入れません。		

8月		
月	水	金
21~30日は一般の方のみ貸し出し。児童は借りられません。		
21	23 かえす	25 かえす
28 かえす	30 そうじ	

9月		
月	水	金
		1
4	6	8
11	13	15
	20	22
25	27	29

1学期の最終貸し出し

6/29(木)	返却のみ	返していない本がある人は、夏休み特別貸し出しの時に借りることができません。忘れずに返しましょう。
7/4(火)	中休みに返そう!	
7/5(水)		
7(金)	夏休み特別貸し出し	夏休みに読む本を一人6冊借りることができます。
10(月)		
12(水)	予備日(昼休み)	お休みした人が借りる日です。



※一般の方は、7月12日(水)が貸し出し最終日です。

2学期の予定

8/22(火)	返却のみ	1学期に借りた本を全部返してね。
29(火)	中休みに返そう!	
30(水)	本のクリーニング作業	
9/1(金)	貸し出し開始	

※一般の方は、8月21日(月)から貸し出し開始です。

★おねがい★ 中休みに本を返せなかったときは・・・

自分で勝手に本棚に戻さないで下さい。本棚に戻しても、返したことはありません。

図書館に来たらすぐに、返す本を図書館の人に渡して下さい。